

知恩 第24号

目 次		
1	「臨時總會」「水戸藩士殉難150年記念事業」	1 ページ
2	会津・新潟研修事業	2 //
3	供養塔説明板・案内板等改修事業	4 //
4	匝瑳市八日市場研修事業	5 //
5	その他	8 //



感謝状の贈呈



記念品贈呈

前号の「知恩」第23号でお知らせしましたとおり、本会前会長の川上有文様は、昨年度末を以って後進に道を譲り、御勇退されました。3月25日の定時総会では、川上様の長年にわたる御功績と御貢献に対し、会を代表して大森信明新会長から感謝状と記念品を贈呈し、感謝の意を表しました。

ここにその折の写真を掲載します。川上有文様、誠に有難うございました。

4月28日（土） 臨時總會を開催

4月28日（土）水戸市三の丸ホテルにおいて、水戸殉難者恩光碑保存会の平成30年臨時總會を開催しました。初めに大森信明新会長から、「会津や新潟など祖先の殉難の地をお守りいただいている地元の方々のためにも我々の活動をやめるわけにはいかない。何らかの施策が打てないか試行錯誤しながらも進めていきたい。」と挨拶がありました。

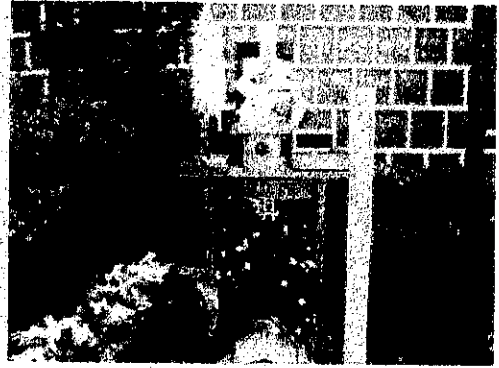
次に、岡見事務局長から、これまで会長が1人で担当してきた会計及び会報の編集を、役員会で引継ぎ、継承していくことが提案され、満場一致で承認されました。

次に、平成30年度は明治維新150年の節目の年であることから、新潟県柏崎市の灰爪の丘の整備、同地及び福島県会津若松市、千葉県匝瑳市における慰霊祭及び学習旅行等の記念事業について、本会とは別組織である「水戸藩士殉難150年記念事業実行委員会」が、水戸市からの補助を得て主催し、本会が共催するとともに、幕末維新水戸有志を偲ぶ会に後援していただくことが確認されました。

5月16日(水)・17日(木) 会津・新潟研修旅行を開催



参加者集合写真



白虎隊記念館前にある水戸藩諸生党鎮魂碑

【5月16日 会津若松市】

会津新潟研修旅行は5月16日、集合場所の水戸市千波公園を7時に出発。午前11時から白虎隊記念館敷地内の水戸藩諸生党鎮魂碑前で慰霊式典を挙行了しました。

式典では、水戸殉難者恩光碑保存会の大森信明会長が式辞を、水戸市の秋葉宗志副市長が高橋靖市長の式辞を代読し、会津若松市の齋藤勝副市長が式辞を奏上しました。

出席者は他に、会津若松市から

教育委員会教育部長 菅井 隆雄 氏

会津史談会前会長 坂内 實 氏

会津史談会 会長 成田 勝義 氏 ほか史談会の方々

白虎隊記念館 早川 広行 氏

水戸市からは

水戸市議会議員（元議長） 高橋 丈夫 氏

教育委員会教育部長 増子 孝伸 氏

幕末維新水戸有志を偲ぶ会会長 中山 義雄 氏 ほか今回の研修旅行参加者の方々

水戸殉難者恩光碑保存会 役員等 合計約50人



水戸藩諸生党鎮魂碑前での慰霊の様子

12時からは会場を「会津若松幸泉小坊師ドライブイン」に移動し、昼食を兼ねて水戸・会津交流研修会を実施しました。水戸徳川家と会津、高須松平家との関わり、鶴ヶ城の攻防と諸生党の行方など、闊達な議論が交わされ、研修交流の実が上がりました。

当日はその後、新潟県に向かい、弥彦温泉に宿泊しました。

【5月17日 柏崎市灰爪の丘】

5月17日、研修旅行の2日目は午前8時30分、寺泊の法福寺から開始となりました。佐藤図書守の墓地を確認し参拝した後、午前10時 柏崎市西山支所に到着。

地元で「灰爪の丘・史跡を守る会」を立ち上げていただいている尾崎忠良氏の案内で灰爪の丘を登り、午前11時、供養塔にて慰霊式典を挙行了しました。

その後、灰爪の丘で戦死した水戸藩士が埋葬されている「埋葬塚」で、尾崎氏からお話を伺い、12時過ぎに下山しました。

12時30分過ぎから新潟・水戸交流研修会を、昼食を兼ねて実施し、尾崎氏ほか「灰爪の丘・史跡を守る会」の日頃の活動に対して、表彰状を贈呈しました。

14時に交流研修会終了、帰宅の途につきました。



供養塔で説明する尾崎忠良氏（左）



供養塔の碑文



慰霊式典の様子



尾崎氏に表彰状を贈呈

供養塔説明板・案内板等改修事業（7～8月）



↑ 改修前の説明板(左)



「灰爪の丘」供養塔の説明板については、平成元年に供養塔を建立した旨の説明と裏面に当地の戦死者の姓名が刻されていましたが、長年風雨にさらされ腐朽が進み、その改修はかねてからの懸案でありました。

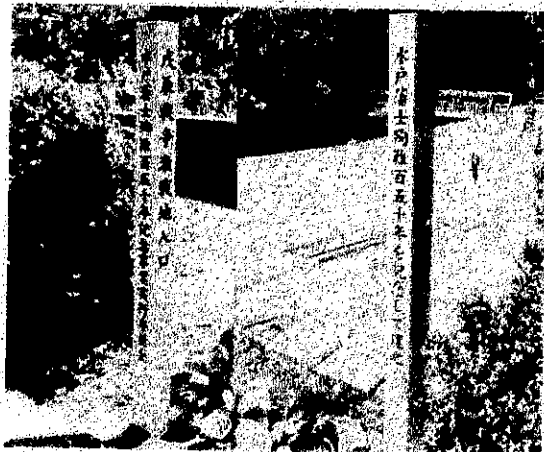
今回、150年記念事業の一環として整備することとなり、地元柏崎市の企業に発注。屋根付きアルミ製の耐候性に優れた説明板となりました。

併せてこれまでわかりにくかった灰爪の丘入り口と埋葬塚の場所を示す標柱も整備しました。

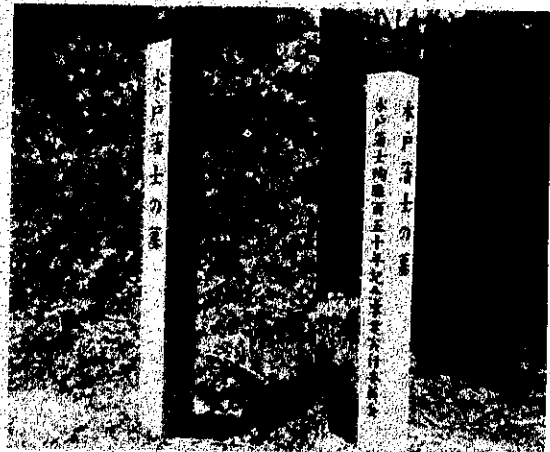
改修後の説明板



説明板の裏面



「戊辰戦争激戦地」(灰爪の丘) 入口標柱



「水戸藩士の墓」標柱

9月27日（木）匝瑳市八日市場研修事業を開催



水戸藩士の墓

慰霊式典には匝瑳市長及び
水戸市長も出席



高橋 靖 水戸市長

9月27日（木）、高橋靖水戸市長、本多清峰教育長、中山義雄幕末維新水戸有志を偲ぶ会会長ほか、一般参加者も含め約50人が千葉県匝瑳市を訪問し、この地で散華した水戸藩士の慰霊式典及び研修交流会を行いました。

匝瑳市からも太田安規市長、二村好美教育長ほか、今日まで慰霊を続けていただいている中台地区の方々もご参加くださいました。



太田安規 匝瑳市長

【水戸市長式辞（抄）】

（略）この地で命を落とされた方々の御霊を供養していただいております中台区の皆様や、水戸藩士の墓を市指定文化財に指定し、保護・保存に御尽力をいただいております匝瑳市の関係者の皆様に対し深く感謝の意を表します。

松山戦争では、（略）多くの水戸藩士が戦死しました。それぞれの立場や信念が異なることにより起こった悲劇でございますが、その先人たちの犠牲の上に今日の私たちがあることを消して忘れてはなりません。

そのためにもこの歴史的事実を後世に着実に伝えていくことが重要であると考えております。

（略）これから予定されております水戸殉難者恩光碑保存会の皆様による講演会や記念誌の発行等に対しましても、明治維新150年記念水戸の先人顕彰支援事業として協力してまいります。

結びに、本日の慰霊祭にあたり多大なるご尽力を



水戸藩士殉難150年記念事業
実行委員会 岡見円礼 委員長



脱走塚（水戸藩士の墓）の慰霊

賜りました水戸殉難者恩光碑保存会の皆様、史跡「脱走塚（水戸藩士の墓）」交流会実行委員会の皆様、中台区の皆様、匝瑳市の関係者の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、あらためまして松山戦争で犠牲になられました方々のご冥福をお祈り申し上げます。

【匝瑳市長式辞（抄）】

（略）今から150年前、明治元年10月6日に、当地松山において壮絶な戦いにより亡くなられた方を、当時の地元の皆様が弔い、供養塔が建立されました。また大正15年には、地元の皆様の寄付をもって碑が建立されております。

この史跡は地元の皆様や龍性院の方々により、今日まで150年の長きにわたり手厚く供養され守り続けられております。

本市といたしましても昭和35年3月に地元の呼び名により「脱走塚」として市指定文化財に指定し、平成30年には「水戸藩士の墓」と史跡に説明文を加えまして所有者とともに保護に努めております。

水戸殉難者恩光碑保存会の皆様は（略）それぞれ御霊を悼む心をもって活動されており、心より敬意を表するものであります。

結びに（略）水戸殉難者運航費保存会の皆様、高橋市長、本多教育長、水戸市の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、本日ご出席の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げまして式辞といたします

【水戸殉難者恩光碑保存会 大森信明会長 追悼の辞（抄）】

水戸藩士殉難150年記念事業実行委員会 岡見円礼委員長 代読

（略）当時、戦没諸士の皆様は、国事に奔走したにもかかわらず、立場の逆転で朝敵の汚名をきせられ、この地で散華なされた事はさぞかし御無念であったことでしょう。

しかしながら、最近ではありますが、皆様の名は回復されつつあります。本日は水戸市の高橋靖市長はじめ、水戸市関係の方々が多数慰霊に来て下さっております。どうか安らかに眠りください。（略）

本日は地元匝瑳市の皆様に多数ご列席いただいております。皆様方がよくご存知のことですが、地元の皆様には、急にやってきた水戸藩士同士が勝手に戦争を行い、多大なご迷惑をおかけいたしました。それにもかかわらず、亡くなった兵士の方々を手厚く供養してくださいました。また匝瑳市の文化財にも指定していただき、今日まで守ってくださいました。私ども水戸藩士の子孫といたしましては地元の皆様のご厚意に心より感謝申し上げます。

恩光碑保存会の使命はなくなった水戸藩士を慰霊することであります。（略）明治維新150年の節目の年にこうして慰霊祭を滞りなく行うことができ、地元の皆様方と交流することができますことは、大変うれしいことであります。

本日お集まりいただいた皆様に改めて感謝申し上げます。今後とも慰霊と交流が続きますことを願い、追悼の辞といたします。

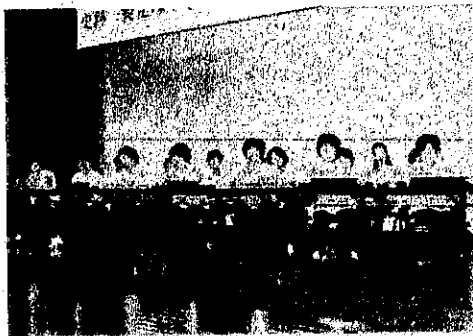


式典後の交流会で、今も慰霊を続けてくださる中台地区の方々に感謝状を贈呈しました



交流会で挨拶をいただいた
幕末維新水戸有志を偲ぶ会
中山義雄会長

慰霊式典の終了後は、会場を市民ふれあいセンターに移動し、交流会実行委員会の皆様のご尽力により、多彩な芸能が披露され、それぞれの地域の充実した交流の場となりました。



その他



平成30年12月2日(日)水戸市八幡町の祇園寺において慰霊法要を開催しました。

法要とその後の講演会の概要は、次号の「知恩」でご紹介する予定です。

お悔やみ



会津研修でご挨拶頂きました

水戸殉難者恩光碑保存会顧問 高橋丈夫元水戸市議会議長が、平成30年12月19日にご逝去されました。享年71歳。

皆様ご存じのとおり、高橋元議長は恩光碑保存会のため大変な努力をなされ、特に平成21年水戸市議会において「天狗諸生の歴史上の立場や現在の水戸行政の対応」について質し、市側から、「今後は平等に対応する。歴史の真実を後世に伝える」等の答弁を得たのであります。

それ以降、本会は水戸市当局のご支援ご協力を頂き今日に至るなど、氏は恩光碑保存会に多大な功績を残されました。

ここに深い感謝とともに心より哀悼の意を表します。

★編集後記 今号から作成担当者が替わりました。約1ヶ月遅れの発行となりましたことをお詫び申し上げます。

水戸藩士殉難150年記念事業は今後、平成31年2月9日(土)に記念講演会を開催し、記念誌の発行も実施予定となっております。会員の皆様にはぜひ、講演会にご参加くださいますようお願い申し上げます。(樹)

知恩第24号

発行日 2019年(平成31年)1月6日

発行所 水戸殉難者恩光碑保存会

発行人 大森信明

作成 事務局 編集委員会